浅い海域、依然高濃度
第一原発南側の魚介類
放射性物質モニタリング

県は二日、魚介類などの放射性物質モニタリング調査結果の概要について相馬市で一般漁業者に説明した。福島第一原発から南の本県沖で水深五〇㍍より浅い海域の魚介類では放射性セシウム濃度が高い状況が継続している。一方で、エビ・カニ類やイカ・タコ類、貝類、ナマコ類では低い傾向がみられる。

昨年四月七日から今年一月二十六日までの調査を基に、県水産試験場が現時点の傾向をまとめた。検査対象は百五十種類で計二千二百三十九回のうち放射性セシウムの暫定基準値を超えたのは【別表】の通り百五十四回。

水深一〇〇㍍より深い海域では総じて低い濃度だが、エゾイソアイナメ（ドンコ）、マダラは高い。事故直後は高かったホッキ貝、アワビ、ヒラツメガニ、ミズダコ、シラスは日数の経過に伴い濃度が低くなる傾向にある。

海底土は水深二〇㍍より浅い海域で著しく低下し、より深い海域に拡散している。代表的な魚種の部位では肝臓や卵巣より筋肉の方が濃度が高い―などと分析している。

県はこれまでにも逐次、分析結果などを示しており、相馬双葉漁協の一般組合員向けに初めての説明会を相馬市のはまなす館で開いた。

三日は新地町公民館で開く。

放射性セシウム検査で暫定基準値を超えた水産物

※放射性セシウム134、137の合計値。単位はベクレル／㎏。「―」は検出限界未満、不検出。数値は左から最大値、最小値、平均値、検査回数、基準値超。

◆魚類

コモンカスベ	1,560	51	393	115	37
アイナメ	3,000	―	379	130	25
シロメバル	3,200	―	776	38	14
ヒラメ	4,500	―	183	198	9
エゾイソアイナメ（ドンコ）	1,770	―	205	63	8
イシガレイ	1,220	21	229	68	6
ウスメバル	1,630	―	489	17	6
コウナゴ	14,400	320	3,486	11	6
マコガレイ	1,380	―	173	110	6
シラス	850	―	103	59	4
ババガレイ（ナメタガレイ）	1,140	―	119	97	3
キツネメバル	1,310	―	375	7	2
クロソイ	2,190	65	639	7	2
サブロウ	1,440	54	791	3	2
スズキ	2,110	44	206	38	2
ケムシカジカ	710	―	127	16	1
ムラソイ	870	142	323	5	1

◆その他

キタムラサキウニ	1,660	42	482	22	7
アラメ	970	―	366	20	6
ホッキガイ	940	41	249	33	4
ムラサキイガイ	650	30	271	4	1
ヒジキ	1,100	110	605	2	1
ワカメ	1,200	41	284	6	1

被災地や仮設で県警が治安対策
24年度、防犯活動支援

県警は平成二十四年度、防犯ボランティアの物品支援などを通して被災地や仮設住宅の治安対策に乗り出す。

県の二十四年度一般会計当初予算案に事業費四百六十万円を計上した。各地域の実情に合わせて柔軟に運用する。仮設住宅などを警戒する防犯ボランティアには青色回転灯などを提供し活動を支援。住民には防犯情報を入れた広報ファイルや自転車の盗難防止用ワイヤーなどの配布を想定している。犯罪多発地域でも活用する。

県警が要求している当初予算総額は四百六十三億四千三百万円で前年度に比べ四十五億八千万円増えた。緊急増員に伴う人件費の増加などが理由。主な事業は【表】の通り。

棚倉署の耐震化工事は二十四、二十五年度で行う。二十四年度は工事全体の半分を終える予定で予算額は一億七千万円余り。工期中は駐車場内に設ける仮設庁舎で業務を続ける。県内で耐震診断がDランクの警察署庁舎は解消される。

駐在所は二カ所を建て替える。いわき中央署川前駐在所はJR常磐線川前駅近くに移転し、いわき南署の川部駐在所は現在地で建て替えをする。

県警本部の主な事業（単位は千円）

専用給油施設設置事業（郡山署）	31,520
災害対策車整備事業	3,370
被災地、仮設住宅などの治安対策事業	4,615
いわき中央署川前駐在所改築事業	37,401
いわき南署川部駐在所改築事業	39,506
棚倉署耐震化対策事業	173,118

高齢者宅訪れ交通安全教育
県警、死亡事故対策

県警は二日までに、高齢歩行者の死亡事故が起きた場合、三日以内に現場から半径五百㍍に住む高齢者宅に警察官が訪問し、交通教育を行う対策を始めた。

高齢歩行者の死亡事故の多くは自宅近くで起きている。昨年一年間に交通事故で死亡した高齢歩行者は二十七人で、自宅からの距離が五百㍍内が十八人。全体の66・7％を占めた。

訪問した警察官は近所で起きた事故を説明し、事故を防ぐポイントなどを指導する。

寒さ夏まで閉じ込めます
喜多方、雪室に雪

「雪室」に雪を搬入する除雪車

雪中貯蔵庫「雪室」の冷気を県喜多方合同庁舎の冷房システムに活用する県喜多方建設事務所の取り組みで、同建設事務所は二日、合同庁舎敷地内の「雪室」に約十㌧の雪を搬入した。

豪雪地帯ならではの新エネルギーとして雪を利用し、夏場の省エネや二酸化炭素（CO_2）削減を目指す実証事業の一環。敷地内に保管していた雪を、小型ロータリー除雪車で約二時間かけて雪室に運び入れた。

年度内に五百七十三㌧の雪を搬入する。「雪室」から流れて熱交換器などで冷却された「雪解け水」が、合同庁舎の一～三階を循環しながら冷気を各部屋に届ける仕組み。

七～九月の平日（六十日間）、午前九時から午後五時まで稼働させる。同建設事務所建設住宅部は期間中の削減電力量を約一万三千㌔㍗時、CO_2削減量を約六㌧と見込んでいる。

蓮沼敏郎同部長は「他施設への導入を視野に、データを集めていきたい」と話している。

バッジ式積算線量計に理解
伊達市が講演会

バッジ式積算線量計の測定結果などについて理解を深めた講演会＝伊達市霊山中央公民館

伊達市は二日、バッジ式積算線量計の測定結果や放射線についての理解を深める講演会を市内霊山町をトップに開いた。二十二日まで市内五カ所で開く。積算線量計の測定結果や外部被ばくの状況について説明することで、住民の放射線に対する不安や疑問を軽減し、健康管理に役立てるために企画した。

初回は市霊山中央公民館で開き、霊山地区の住民らが参加した。バッジ式積算線量計を製造する千代田テクノルの小迫智昭さんやNPO法人放射線安全フォーラムの多田順一郎さんが結果の見方や放射線の健康影響とこれからの過ごし方などを紹介。市健康管理アドバイザーの宍戸文男教授は積算線量計を正しく使用、測定することが大切とした。

生活圏の除染6JVが提案
南相馬市に

南相馬市が進めている生活圏の除染に関する業者の選定で二日までに、大手ゼネコンなど六つの共同企業体が市に除染技術の提案を行った。今月中に開く市除染推進委員会で内容を評価し、選出した一つの共同企業体に市は除染を約四百億円で一括発注する。

国が直轄で除染する警戒区域と計画的避難区域を除き、市は住宅や事業所など約四万六千戸、面積千四百三十三㌶で除染を行う。総延長約千㌔の道路なども含む。国が示した基準を基に試算した除染費用を平成二十三年度に二十二億円、二十四年度に百九十六億円、二十五年度に百八十二億円として予算に計上。除染費用は国が負担する。

報道の役割探る
福島で新聞労組東北地連集会

福島民報労働組合などが加盟する日本新聞労働組合東北地方連合会（東北地連）の春闘産業研究集会は二、三の両日、福島市飯坂町のホテル聚楽で開かれている。

「東日本大震災から一年。東北の復興へ、新聞が今できる事」をテーマに、東北六県を中心に全国の新聞社労組などから約百人が参加している。

初日は「震災報道とメディア」と題した発表が行われた。馬場有浪江町長が基調講演し、東京電力福島第一原発事故直後に情報がなく住民の避難に生かせなかった教訓を紹介。「災害時は迅速な情報公開、伝達が重要」と訴えた。

馬場町長と地元紙記者による討論も行われ、新聞報道の在り方や課題などについて意見を交わした。

震災報道などについて意見を交わした集会

男の身元判明
須賀川署逮捕

須賀川市諏訪町に駐車中の乗用車からデジタルカメラやバッグなど（四万二千円相当）が盗まれた事件で須賀川署が、窃盗の疑いで逮捕し、身元などを黙秘していた男は、本籍矢吹町、住居不定、職業不詳正木義男容疑者（六四）だった。同署が二日発表した。

諏訪町近辺では今年、車上狙いが数件発生しており、同署は調べを進めている。

12日に2市で原発賠償説明会
法人など対象

来社し説明会をPRした（前列右から）菅野、高田、（後列右から）沢井、熊田の各氏

県弁護士会と東北税理士会県支部連合会は、東京電力福島第一原発事故で損害を受けた県内の法人や個人事業主を対象とした合同説明会を十二日午前十時から福島市のコラッセふくしまと郡山市の郡山ビューホテルの二会場で開く。

初めての企画。損害賠償の請求と受け取りが円滑・迅速に進むよう、弁護士と税理士がそれぞれ専門の立場から助言する。両会場とも午前十時から一時間程度、講話形式の説明会を開いた後、個別の相談に応じる。

参加を希望する法人・個人事業主は、謄本や定款など事業内容が分かる資料、過去三期分の決算書、原発事故以降の試算表など逸失利益が算定できる資料を持参する。

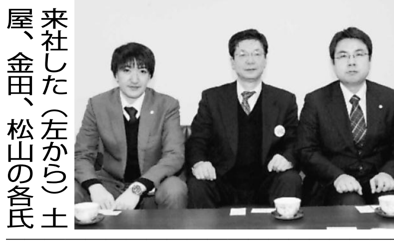
参加費無料。事前の申し込みは必要ないが、福島会場は定員六十人、郡山会場は定員八十人となっている。

問い合わせは県弁護士会　電話024（534）2334、または郡山税理士会館　電話024（922）9488。

◇　◇

県弁護士会の菅野昭弘会長と沢井功原発事故被害者救済支援センター運営委員長、東北税理士会県支部連合会の高田藤太郎会長と熊田耕治副会長は二日、PRのため福島民報社を訪れた。

食品の放射性物質検査を受け付け
県食品衛生協会


来社した（左から）土屋、金田、松山の各氏

県食品衛生協会は食品中の放射性物質の検査を受け付けている。

検査は東京都町田市にある日本食品衛生協会食品衛生研究所に委託する。対象は加工食品、飲料水、農産物、畜産物、水産物など。ゲルマニウム半導体検出器を使って検査する。手数料は一件につき九千四百五十円（税込み）。会員以外に一般も受け付ける。申し込み、問い合わせは県食品衛生協会　電話024（521）4310へ。

◇　◇

県食品衛生協会の金田光市専務理事兼事務局長は二日、福島民報社を訪れ、「本県の検査料は他県の半額になっている。食品の安全安心確保のために利用してほしい」と語った。

日本食品衛生協会の土屋知貴総務課課長代理、松山義広公益法人制度対策室係長・室長補佐が一緒に訪れた。

事件・事故ファイル

【傷害容疑で逮捕】

▼宮城県多賀城市、建設業高槻智容疑者（41）。昨年9月25日午前11時5分ごろ、福島市笹木野の東北自動車道上り線上で車を止め、走行方法のトラブルから郡山市の男性（26）の顔面を殴るなどしてけがを負わせた疑い。（福島署）

【窃盗容疑で逮捕】

▼郡山市大槻町、無職少女（19）。1月21日ごろ、市内喜久田町の家電量販店でブルーレイディスクレコーダー1台（4万4千円相当）を盗んだ疑い。2日逮捕。（郡山北署）

▼郡山市富久山町久保田字上野32の1、アルバイト日下義範容疑者（43）。1月24日午後6時30分ごろ、同市並木二丁目のアパート軒下から会社員女性（56）の洗濯機1台（2万円相当）を盗んだ疑い。洗濯機は新品で、箱に入っていた。2日逮捕。（郡山署）

【器物損壊容疑で逮捕】

▼矢祭町中石井字小野沢29、無職鈴木貞良容疑者（73）。1月4日午後1時20分ごろ、塙町の総合病院駐車場で、男性（79）所有の軽乗用車のタイヤ3本を鋭利な物で刺してパンクさせた疑い。2日逮捕。（棚倉署）

【交通事故】

▼2日午後7時15分ごろ、郡山市台新二丁目の県道で市内の会社員女性（48）の軽乗用車が停留所で止まっていた市内の男性運転手（58）の路線バスに追突した。乗客10人を含め、けが人はなかった。当時、路面は凍結していた。（郡山署）

◆第2228回関東・中部・東北自治宝くじ（2日）

1等（4000万円）
61組　152698
57組　146071
1等の前後賞（1500万円）
1等の前後の番号
1等の組違い賞（5万円）
1等の組違い同番号
2等（100万円）
各組共通　150266
3等（10万円）
下4ケタ　1671
4等（1000円）
下2ケタ　87
5等（200円）
下1ケタ　3
冬のビッグチャンス賞（1万円）
下3ケタ　196
918

◆第3300回ナンバーズ（2日）

【ナンバーズ3】782
ストレート　110,000円
ボックス　18,300円
セット
ストレート　64,100円
ボックス　9,100円
ミニ（下2ケタ）　11,000円
販売実績額　85,096,200円

【ナンバーズ4】1909
ストレート　1,045,900円
ボックス　87,100円
セット
ストレート　566,500円
ボックス　43,500円
販売実績額　261,300,800円

◆第629回ロト6（2日）

本数字　06　16　21　30　34　43
ボーナス数字　36
1等　200,000,000円（1口）
2等　19,279,400円（10口）
3等　628,600円（368口）
4等　11,900円（17,139口）
5等　1,000円（285,832口）
キャリーオーバー　14,218,330円
販売実績額　2,507,294,600円

◆2日の県内各地の環境放射線量測定結果（複数回計測した地点は最も高い値）

◇県調査▽県北＝福島市役所（1・07）農業総合センター果樹研究所（0・43）福島西IC（0・31）ふくしま自治研修センター（0・24）紅葉山公園（0・86）二本松市東和支所（0・52）同田沢集会場（0・38）伊達市下小国中央集会場（0・88）同霊山パーキング（1・29）同月舘相葭公民館（1・49）本宮市役所（0・52）同白沢総合支所（0・50）同旧白沢総合支所（0・66）福島北署桑折分庁舎（0・64）国見町役場（0・31）大玉村役場（0・35）

▽県中＝県農業総合センター（0・75）ビッグパレットふくしま（0・47）田母神小（0・16）郡山市逢瀬行政センター（0・32）須賀川市役所長沼支所（0・68）同岩瀬支所（0・69）三春町役場（0・22）小野町役場（0・09）鏡石町役場（0・17）天栄村役場（0・60）石川町役場（0・10）玉川村役場（0・14）福島空港（0・26）浅川町役場（0・14）平田村役場（0・14）古殿町役場（0・13）

▽県南＝白河市表郷庁舎（0・19）同大信庁舎（0・54）同東庁舎（0・21）矢吹町役場（0・22）西郷村役場（0・44）泉崎村役場（0・44）中島村役場（0・15）棚倉町役場（0・19）塙町役場（0・17）矢祭町役場（0・10）鮫川村役場（0・14）

▽会津＝喜多方市役所（0・09）北塩原村役場（0・10）西会津・野沢小（0・03）磐梯町役場（0・11）猪苗代町役場（0・10）会津坂下町役場（0・09）湯川村公民館（0・10）柳津町役場（0・09）三島町役場（0・08）金山町役場（0・08）昭和村役場（0・07）会津美里町役場高田支所（0・07）

▽南会津＝南会津町役場南郷総合支所（0・13）同伊南総合支所（0・14）同舘岩総合支所（0・09）下郷町役場（0・07）只見町役場（0・08）檜枝岐村役場（0・10）

▽相双＝相馬市役所（0・17）同玉野出張所（0・65）相馬市山上公民館（0・25）相馬港2号埠頭（ふとう）（0・13）南相馬市鹿島区役所（0・29）同鹿島区橲原公民館（1・71）同横川ダム（1・60）新地町役場（0・17）浪江町津島活性化センター（1・59）飯舘村長泥コミュニティセンター（4・64）

▽いわき＝いわき市三和支所（0・15）同小川支所（0・13）同勿来支所（0・09）同田人支所（0・26）同小名浜支所（0・12）小名浜藤原埠頭（0・11）いわき市四倉支所（0・20）JR久ノ浜駅（0・28）いわき市末続集会所（0・34）同中央台南小（0・15）同川前支所（0・11）

▽福島第一原発周辺地域＝広野町・二ツ沼総合公園（0・58）楢葉町・旧楢葉消防分署（0・34）同・繁岡地区集会所（1・31）同・中平集会所そば（1・37）富岡町・滝の沢（2・01）同・JAふたば南部営農センター（2・09）同・旧富岡町役場（4・20）同・リフレ富岡駐車場（4・21）大熊町・原子力センター（5・86）双葉町・山田多目的集会場付近（25・75）同・双葉体育館（5・30）同・郡山公民館（1・62）浪江町・中央公園（1・12）同・幾世橋小（0・50）

◇文部科学省調査＝あづま総合運動公園（0・21）伊達市役所保原本庁舎（0・51）石神生涯学習センター（0・64）須賀川市役所（0・15）白河市総合運動公園（0・30）会津若松市役所（0・12）びわのかげ運動公園（0・07）スポーツアリーナそうま（0・33）郡山市役所（0・61）広野町役場（0・19）川内村役場（0・13）葛尾村柏原地区（3・66）田村市常葉行政局（0・13）いわきの里鬼ケ城オートキャンプ場（0・20）いわき市海竜の里センター（0・28）養護老人ホーム「東風荘」（4・91）石熊公民館（13・23）浪江ひまわり荘（3・66）

2日の県内13地点の環境放射線量測定値（単位はマイクロシーベルト／時間）

測定時刻	福島市	二本松市	郡山市	白河市	会津若松市	南会津町	南相馬市	いわき市平	田村市船引	飯舘村	川俣町山木屋
平常値	0.04	―	0.04～0.06	0.04～0.05	0.04～0.05	0.02～0.04	0.05	0.05～0.06	―	―	―
1:00	0.65	0.62	0.61	0.31	0.09	0.07	0.39	0.18	―	0.67	―
4:00	0.65	0.63	0.59	0.32	0.09	0.07	0.39	0.18	―	0.66	―
7:00	0.65	0.63	0.60	0.33	0.09	0.08	0.39	0.18	―	0.70	―
10:00	0.65	0.69	0.64	0.33	0.10	0.07	0.39	0.18	0.14	0.72	―
13:00	0.66	0.68	0.67	0.33	0.10	0.08	0.38	0.18	0.14	0.71	0.77
16:00	0.65	0.67	0.66	0.33	0.12	0.08	0.39	0.17	0.15	0.69	0.77
19:00	0.66	―	0.64	0.32	0.09	0.08	0.39	0.17	0.13	―	―

川俣町役場		伊達市小国ふれあいセンター	
8:49	0.58	9:51	1.25
14:50	0.58	13:42	1.21

※測定場所は県北保健福祉事務所、二本松市役所、郡山合同庁舎、県南合同庁舎、会津若松合同庁舎、南会津合同庁舎、南相馬合同庁舎、いわき合同庁舎、田村市役所、飯舘村役場、川俣町山木屋駐在所。川俣町役場と小国ふれあいセンターは午前と午後に2回計測。平常値の「―」は定点観測していないため出ない。

きょうの第一原発付近の天気と風向き（数字は風速m/s）

0時	3時	6時	9時	12時	15時	18時	21時
西3	西3	西2	西3	西5	西4	南西2	西2

放射性物質の検査結果

※単位は1㌔当たりのベクレル。左の数値はセシウム134、右はセシウム137。「<」の右側の数値は検出下限値。

【野菜】

※食品衛生法の暫定基準値は放射性セシウム（134、137の合算）500ベクレル。

会津若松：葉タマネギ（施設）	検出せず（<12）	検出せず（<11）
会津若松：ネギ（施設）	〃（<13）	〃（<9.8）
会津若松：ホウレンソウ（施設）	〃（<11）	〃（<9.5）
会津若松：クキタチナ（施設）	〃（<9.7）	〃（<11）
須賀川：イチゴ（施設）	〃（<11）	〃（<8.9）
南相馬：ニラ（施設）	〃（<12）	〃（<10）
南相馬：ミズナ（施設）	〃（<12）	12
南相馬：ミズナ（施設）	〃（<12）	検出せず（<7.9）
南相馬：キャベツ	〃（<17）	〃（<13）
南相馬：ハクサイ	〃（<9.5）	〃（<8.6）
大玉：タラノメ（施設）	〃（<12）	15
西会津：キャベツ	〃（<12）	検出せず（<11）
西会津：レタス（施設）	〃（<9.7）	〃（<9.0）
磐梯：ホウレンソウ（施設）	〃（<14）	〃（<12）
矢吹：コマツナ（施設）	〃（<14）	〃（<12）
矢吹：ホウレンソウ（施設）	〃（<9.6）	〃（<11）
須賀川：カブ（施設）	〃（<8.4）	〃（<8.6）
南相馬：ニンジン	〃（<12）	〃（<10）
平田：カブ（施設）	〃（<13）	〃（<12）

【牛肉】

※食品衛生法の暫定基準値は放射性セシウム（134、137の合算）500ベクレル。

二本松	検出せず（<7.2）	検出せず（<6.3）
二本松	〃（<8.9）	〃（<6.6）
大玉	〃（<8.4）	〃（<6.8）
本宮	〃（<8.9）	〃（<7.5）
郡山	〃（<7.9）	〃（<6.6）
鏡石	〃（<8.4）	〃（<7.6）
鏡石	〃（<9.0）	〃（<7.4）
鏡石	〃（<11）	9.7
鏡石	〃（<11）	8.3
古殿	〃（<7.8）	検出せず（<7.0）
平田	〃（<9.6）	〃（<6.7）
平田	〃（<7.1）	〃（<6.9）
平田	〃（<9.6）	〃（<8.7）
白河	〃（<9.7）	10
西郷	〃（<9.5）	検出せず（<7.5）
西郷	〃（<7.5）	〃（<7.2）
西郷	〃（<9.0）	〃（<8.2）
西郷	〃（<7.2）	〃（<7.8）
白河	〃（<8.8）	9.4
白河	〃（<8.7）	8.9
天栄	〃（<8.9）	検出せず（<9.8）
天栄	〃（<8.9）	〃（<9.1）
白河	〃（<9.3）	〃（<6.9）
白河	〃（<9.9）	〃（<8.1）
白河	〃（<9.2）	7.1
白河	〃（<8.2）	検出せず（<7.0）
白河	〃（<7.6）	6.5
白河	〃（<8.3）	10
白河	〃（<7.5）	検出せず（<8.1）
白河	11	11
白河	検出せず（<11）	検出せず（<8.2）
白河	〃（<7.9）	〃（<6.8）
白河	〃（<6.6）	〃（<6.9）
白河	〃（<11）	〃（<8.1）
大玉	〃（<9.0）	〃（<7.6）
白河	〃（<7.7）	〃（<7.5）

8市町村の野菜基準値下回る
放射性物質検査

県は二日、野菜の放射性物質検査の結果を【表】の通り発表した。八市町村の十四品目十九点を調べ、放射性セシウムは全て検出下限値未満か食品衛生法の暫定基準値（一㌔当たり五〇〇ベクレル）を下回った。

放射性ヨウ素は全検体で検出下限値未満だった。

牛肉も基準値内

県は二日、牛肉の放射性物質検査の結果を【表】の通り発表した。十市町村の農家十六戸で生産された三十六頭を調べ、いずれも放射性セシウムは検出下限値未満か食品衛生法の暫定基準値（一㌔当たり五〇〇ベクレル）を下回った。

放射性セシウムが検出されたのは九頭だった。放射性ヨウ素は全て検出下限値未満だった。

一方、県外で食肉処理された百二十四頭の放射性セシウムは全て検出下限値未満だった。

東日本大震災生活情報
（変更の場合あり）

原子力・放射線

【原子力損害賠償等に関する相談・説明】

▼県＝原子力損害賠償制度の概要、原子力損害賠償紛争審査会の指針、賠償に関する手続きなどの相談に応じる。土、日曜、祝日を含む午前8時半～午後9時。毎週水、金曜午後1～5時は弁護士による法律相談も行う。☎024（523）1501

【放射線に関する相談・問い合わせ窓口】

▼政府原子力災害現地対策本部＝フリーダイヤル（0120）988359（午前8時～午後10時）

▼健康相談ホットライン（放射線に関する健康相談）＝日本原子力研究開発機構原子力緊急時支援・研修センターなど。フリーダイヤル（0120）755199（午前9時～午後6時）

▼被ばく医療健康相談ホットライン（放射線に関する一般健康相談）＝放射線医学総合研究所☎043（290）4003（午前9時～午後5時）

▼緊急被ばくスクリーニング実施施設＝平日午前10時～午後5時▽福島＝県北保健福祉事務所▽郡山＝市保健所▽須賀川＝県中保健福祉事務所▽白河＝県南保健福祉事務所▽会津若松＝会津保健福祉事務所▽南会津＝南会津保健福祉事務所▽いわき＝市保健所▽南相馬＝相双保健福祉事務所（相双のみ土、日曜、祝日も可能）

その他

▼無形民俗文化財の被災調査＝民俗芸能学会福島調査団が県内で進めている。継承者や保存会などの被災情報の提供を呼び掛けている。調査団本部☎0243（22）2941

▼震災遺児修学援助基金の修学資金給付＝小・中学校、高校、高専、特別支援学校、専修学校、大学（短大含む）に在学中で震災で死亡、行方不明になった父母らに養育されていた遺児が対象。給付額は1人年間28万2千円で期間は申し込みがあった学年から大学4年終了まで。ゼロ歳から大学生までの申し込みを受け付け、未就学児は待機児童として登録し、小学校入学時から給付する。申し込みは所定の申込書をそろえて郵送する。連絡先は高速道路交流推進財団　フリーダイヤル（0120）768660（平日午前9時半～午後5時半）。ホームページhttp://www.highway.or.jp

▼県立美術館臨時休館＝3月31日まで休館する。東日本大震災に伴う玄関ホールの補修工事と県立美術館・図書館庭園の除染工事のため。休館中の問い合わせは☎024（531）5511（平日午前9時～午後5時45分）